

二 梅
ニ メ

二 二 ○

幽かゝは机の悠山
人らスのデ人下
一キ夕横ザ家
パ匹ヤ方にイ椅・
ソのスの置ン子悠
コワタニかをに人
ンンユれ作座の
をちゝてつつ部
見や昨スいてて屋
なん日がるいパ
がが未流小るソタ
ら逃明れさ。コ方
、げ、てめン・
頭出といので回
をしあるテボ想
抱まる。レス
えしおビタ
てた宅で

悠犬悠犬は柄犬見悠上眠山人住
人、人、縁、のる人空そ下通宅
、全、悠が口体と、でう悠り街
犬く犬人かはは、カはに人の・
を動ををつ大大悠ラカ歩へ少道
見じ見見たきき人スラい2な路
てなてて色くめのをステ1いへ
少いいいを牙で目見がい。早早
し。るるしは、のな旋る、朝朝
首。。て銳灰前が回。リ。。
を。いい色にらし。ユ
傾。ると犬数て。ツ
げ。耳黒、歩、
る。はの座歩鳴
。長変つきい
。くわて、て
。つい前い
。瞳たるをる

悠人	悠人	悠人	○	梅子	ニユ	梅子	ニユ	悠人	ニユ
犬犬」行悠犬そ」犬悠犬」犬」犬悠住 ににさく人、の落、人、チ、お、人宅 手ゆあ。、悠まち息、ヨエ動前全、街 をつ、そ人ま着を犬ダリかかく犬・ 触く俺のを、け荒のレ」な?動と道 れりとま見犬よく方をちい」か対路 そと帰までへ」しへ垂や。な面へ う手ろゆいとて一らんいし早 にをうつるもい歩し?°て朝 な伸く。うる足て° つばり一°をい たすと歩出る 時。と犬近す。 、あに近づく。 犬と少く。 悠し人で いて	悠人	悠人	○	梅子	ニユ	梅子	ニユ	悠人	ニユ
悠つのニしけ」なニの電悠記ん」画」まに」悠 人た声ユまたス顔ユ声話人のをス面へすはス人 「ら」す方キを」番、電保キの驚」3キ、 真、チス」はヤシスチ号テ話護ヤ下い0ヤテ 剣絶エキ、ステキエをレ番さスにた0スレ 対リヤ安タ、ヤリ、ビ号れタは表万タビ テにス全」ス」スのまた」、情円」の レ許ちタな」タちマ画で方」電での」方 ビさや」保チ」やホ面早がも話」懸現に 護エ、んのに急おし番3賞在体 少、写映にら、号0金、を てかもをよ」し早真しごれチが0がチ向 いらし下ろち鬱くで出連まエ表: るねもげしや陶帰撮さ絡し」示けりる 。!のるくんしつるれくたりさら」。 「事。おをいて。てだらしれ が願見そ来いさ、ちる あいかそ来てるい下や。てや !」									

